

チェロ界きっての実力者6名による まさに奇跡のアンサンブル!! 新年の横浜に響き渡る 想像を超えた圧倒的音楽

包容力のある音色で私たちを魅了する魅惑の楽器・チェロ。

そのスペシャリストたち6人による贅沢の極みのような公演が、ついに横浜みなとみらいホールで実現!

この公演、何よりもこの6名であることに語りつくせない価値があります。いずれも内外で活躍するトップ・オブ・トップの奏者である彼らだからこそ、底なしの美しさ、圧巻の超絶技巧、きらめく個性、そして包み込まれるような圧倒的スケール感の大きさに魅せてくれる——これまでの各地での公演も売切れ続出というのも、うなずける話。最高峰の音楽が、ここにあります。

多忙を極める彼らが一堂に集うこと自体、今となってはまさに奇跡。この貴重な機会、お聴き逃しなく!

辻本 玲 Rei Tsujimoto

NHK交響楽団首席チェロ奏者。東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。第72回日本音楽コンクール第2位。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2009年ガスパール・カサド国際チェロコンクール第3位入賞(日本人最高位)。2013年齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。使用楽器は宗次コレクションより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウス、弓は匿名のコレクターよりTourteを特別に貸与されている。

公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>

伊藤悠貴 Yuki Ito

2010年ブラームス国際コンクール第1位、2011年ウィンザー祝祭国際弦楽コンクール第1位、2019年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする国内外の一流オーケストラと共演を重ね、ウィグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホールでリサイタルなど欧州楽壇の檜舞台を踏む。幅広いレパートリーの中核にラフマニノフ研究を据え、2012年『ラフマニノフ:チェロ作品全集』でCDデビュー、2023年には学術単行本『ラフマニノフ考』を上梓。

小林幸太郎 Kotaro Kobayashi

桐朋学園大学音楽部を首席で卒業。チェロを倉田澄子氏に師事。桐朋学園チェロアンサンブルの常任アレンジャー、コンサートマスターを経て、チェリスト、作編曲家として国内外多数のアーティスト、団体と共演、音楽制作に携わっている。クラシック以外の分野ではNHK、日本テレビ、テレビ朝日をはじめとするテレビ番組への楽曲提供および出演、各種CMや映画、ゲーム音楽等の制作、レコーディングに携わる。現在felix音楽ホール、Lapi Studio館長、高嶋ちさ子 with Super Cellistsメンバー、アレンジャーとして活動。

伊東 裕 Yu Ito

日本音楽コンクールチェロ部門第1位受賞。葵トリオとして、第67回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門第1位受賞。関西フィル他オーケストラと協演。クラシック倶楽部、紀尾井ホール「明日への扉」などに出演。東京芸術大学音楽学部を首席で卒業し、同大学院を修了。ザルツブルク・モーツァルトウム大学、ミュンヘン音楽大学にて研鑽を積む。葵トリオ、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー。東京都交響楽団首席チェロ奏者。東京芸術大学非常勤講師。

岡本侑也 Yuya Okamoto

ピアニストのクリスチャン・ツィメルマンと三度にわたりブラームスのピアノ四重奏曲を共演して大成を取め、世界の音楽界を席巻するエベース弦楽四重奏団のメンバーとしても演奏活動を展開する、エレガントなフレージングと輝きを放つ、今世界が最も注目するチェリスト。

ミュンヘン音楽演劇大学を首席で卒業、同大学院ソロ科も首席で修了。2017年エリザベト王妃国際音楽コンクール第2位、2011年第80回日本音楽コンクール第1位、新日鉄住金音楽賞フレッシュアーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞を受賞。CDに高崎芸術劇場T-Shotシリーズ《岡本侑也 IN CONCERT》。

上野通明 Michiaki Ueno

2021年ジュネーヴ国際音楽コンクール・チェロ部門日本人初の優勝、併せて三つの特別賞受賞。ルーマニア国際音楽コンクール、ブラームス国際コンクール優勝など国際舞台で活躍。ワルシャワ・フィル、スイス・ロマン管、KBS響、NHK響、国内外のオーケストラと多数共演。青山音楽賞新人賞、出光音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞他、文化庁長官国際芸術部門表彰。使用楽器は1758年製P.A.テストレー(宗次コレクション)、弓はF.トルテ(住野泰士コレクション)を貸与されている。



Miracle Cello Ensemble